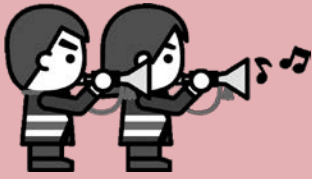


2019年度版



消 防 団 報

地域住民の防災意識

下諏訪町消防団長 清水 正

平成30年4月より下諏訪町消防団長を拝命しました清水正と申します。

日頃は下諏訪町消防団の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

近年、消防団に課せられた使命や消防団を取り巻く環境が以前と比べ大きく変化しています。消防団員の職業構成も、私が入団した30数年前は自営業者が多くの割合を占めていましたが、現在は団員の9割がサラリーマンで、日中の災害活動には困難を極めているのが現状です。建物火災の発生は以前に比べ減少していますが、自然災害は全国各地で毎年何件も発生しています。こうした中、消防団の主たる任務とされていた消火活動に加え、現在は多発する自然災害に対応した訓練や研修も多く取り入れています。

自分たちの地域は自分たちで守るという大原則のもと、消防、警察はもとより、地域住民の確かな防災意識の向上が、少なからず災害に対する備えや防衛になると思います。住民の皆さんが、地域主催の防災訓練や研修会に積極的に、ご参加いただくことで、防災とは何かを考える時間を増やすことが、この豊かな下諏訪町を未来へとつないでいくと信じております。

団員確保への取組

下諏訪町消防団副団長大和尚弘

昨年に引き続き下諏訪町消防団副団長を務めさせていただき、ますます南高木の和尙弘です。

昨年の消防団活動を通じて感じた事は、火災対応が広域管理の下、団の動きが変わる中対応してきている。しかし中身では分団の団員確保で非常に苦慮している現実を実感しました。

団員の確保は各分団毎それぞれが工夫して勧誘活動を続けていますが、現勧誘方法では限界にきていると感じました。今実行できる最適な勧誘方法を模索する中、町に相談しアドバイスを受けた新たな方法を今年、強化月間として実行することを下諏訪町消防団の重要課題と位置付けています。結果としてこの勧誘活動を通じて少しでも団員が確保でき、団活動がより充実できればと考えます。

そして、有事に対処するポンプ操法・ラッパ吹奏訓練も、今の時代に沿った実践型を引

き続き積み重ねていく予定で

最後に、消防団は自分が生活する地域や町内幅広く仲間形成ができる場だと考えます。自らの仕事と両立することは簡単なことではありませんが、自分たちの町は自分たちで守るといふ『やりがい』と『達成感』が味わえる場だと信じます。この仲間形成を伝えるためにも、地域の皆さんのご協力とお力添えをよろしくお願ひいたします。



春の非常招集訓練

「自分たちの地域は自分たちで守る。」という理念のもと、消防団では有事に備えての訓練を繰り返し行っています。

ひとつずつ いいね!で確認 火の用心



下諏訪町消防団の組織・幹部

消防団本部（正副団長）



清水団長

大和副団長



高坂音楽隊長



小口ラッパ長



両角女性消防隊長



宮下第一分団長
(第一区)



神澤第二分団長
(第二区)



網野第三分団長
(第三区)



井上第四分団長
(第四、十区)



竹原第五分団長
(第五区)

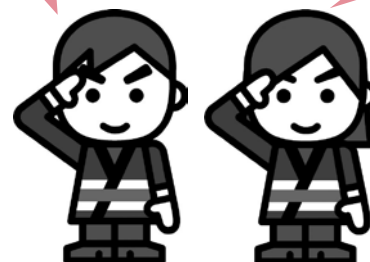


佐藤第六分団長
(第六区)



大和第七分団長
(第七、八、九区)

よろしくお願ひします



消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会



消防団では、更なる地域防災力の向上を目指し、男女を問わず広く消防団員を募集しています。

お気軽に消防課までお問い合わせください。

■問い合わせ 下諏訪町 消防課
電話28-0119



- ◇日時 2019年6月16日(日)
午前7時～
- ◇場所 赤砂崎多目的グラウンド

下諏訪町消防団では、消防団員の士気を高め、日ごろの訓練の成果を発表する場として、消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会を開催します。

普段なかなか見ることのできない「ポンプ操法」やお祭りで見聞かぬ機会がない「ラッパ吹奏」をぜひ見にお越しください。